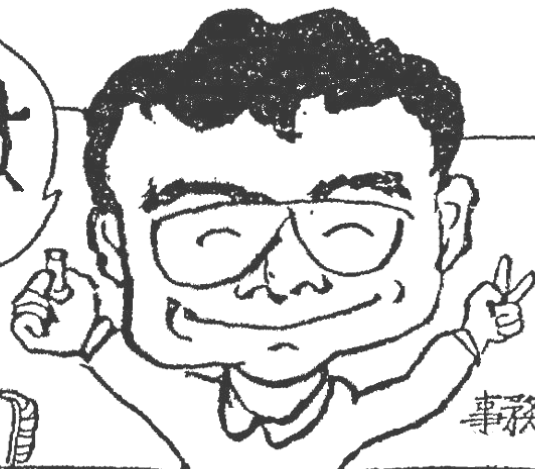


こんにちは

日本共産党 週刊県議会ニュース

2021年12月26日 NO.1124



きらとみひこ

吉良富彦 です

新屋敷事務所 823-5878
葛野事務所 846-2046
県議会控室 823-9524

自由民権運動の理念 日本国憲法に結実

●岸田首相が6日の所信表明演説で「敵基地攻撃能力も含め現実的に検討する」と強調し、軍事費が初めて6兆円をこえるなど、自公政権は憲法を無視する既成事実を重ねさせたうえ、憲法改悪へと突き進む危険な動きを見せています。

●12月県議会では、現憲法の基本的人権・平和などの理念の源流に自由民権運動があることを知事に確認させ、教育長には、現日本極憲法の制定過程についての学習を進めていく必要性を表明させました。

(左の引用記事参照)

●参議院選挙まで6ヶ月、憲法改悪や政治腐敗を阻止するため、来年も力を合わせていきましょう。

自由民権 土佐の歴史 高知県議会 岡田氏が政治姿勢問う

日本共産党の岡田芳高知県議は14日、県議会代表質問に立ち、憲法などについて浜田省司知事の政治姿勢をただしました。岡田氏は「日本の民権思想、特に土佐の自由民権思想を源流として成立したのが日本国憲法だ」と指摘。浜田知事は歴史学者の家永三郎氏が高知県の自由民権家の植木枝盛の草案と日本国憲法が主権在民などの点で酷似していると評していることなどに言及し、「わが国の立憲政治の成立過程で土佐の自由民権活動がこれを大きく後押しし、また、植木枝盛の草案は現憲法の理念を先取りするものであったといえる」と考えたと答えました。

また、岡田氏は「自由民権の思想を源流とし、侵略戦争の痛苦の反省から生まれた憲法の成立過程を学ぶことは、主権者教育にとつて重要だ」と強調。伊藤博明教育長は県教育委員会発行の歴史副読本『中高生が学ぶふるさと高知の歴史』で自由民権運動の理想が日本国憲法に結実したことが触れていることなどを紹介し、今後憲法の制定過程の学びを推進していくと表明しました。

教職員変形労働やめよ

高知県議会 米田氏、条例化反対

日本共産党の米田穂高知県議は15日、県議会一般質問に立ち、教育職員の変形労働時間制、新型コロナウイルス対策の問題などを取り上げました。米田氏は教育職員の変形労働時間制について「日本共産党の米田穂高知県議は15日、県議会一般質問に立ち、教育職員の変形労働時間制、新型コロナウイルス対策の問題などを取り上げました。米田氏は教育職員の

育士に抱き付く写真を見ての思いを質問。浜田知事は「住民を強い不安に陥れるような異常な訓練については、何としても中止していただかなければならぬ」との思いをあらためて強く感じた」とのべた。

12月18日付しんぶん赤旗より

大きな逸脱だ」「一番大事なのは8時間労働を最大限守る。そして、世界で最も多忙な教職員の働き方を根本から改革することが一番のリフレッシュの道だ」と力説しました。新型コロナウイルス対策で米田氏は、心身ともに健康で人間らしい働き方、基本的に残業なしで対応できる医師数の確保などを提起し、第5波を教訓に、早期に治療し、重症化を防ぎ、医療資源が逼迫しない取り組みの現状と課題を質問。浜田省司知事は「第5波の経験から、病床や宿泊療養施設の拡充に加え、入退院調整の迅速化や自宅療養者のさらなる不安軽減などが課題だ」などと答えました。

★侵略戦争の悲惨さ、愚かさを描く『王希奇展—一九四六—』
日本国憲法の原点！忘れじ！

私の父も母も満州からの引き揚げ者、絵に描かれている一人なのです。



私たち日本国民は痛苦の悔恨、懺悔のもと、二度と戦争はしないと憲法で誓い、この七十六年間誓いを守り生きてきました。その戦後日本の原点に立ち戻される展覧会でした。企画した小野さん初め実行委員のみなさまに、心より御礼申し上げます。ありがとうございます。

カラリンにやんでも通信

★読者のみなさん、今年もご愛読頂き感謝申し上げます。どうぞ良いお年をお迎えください。

県議会議員 吉良富彦